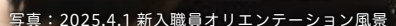


DAN

2025.SPRING
No.9



P5 新病院 検査のココが変わります ～PET-CT～



日本の医療制度の実態を知ってほしい 霧島医療センターの将来のために

新しい病院に移転して二か月が過ぎようとしています。年末年始に続き、一月中旬からの診療制限では市民の皆様はじめ、各方面の関係者にご迷惑をおかけしたと思います。職員一同が新病院にやっと慣れ、四月から新しい職員を迎え、新病院の機能を発展させるべく努力を続けたいと思います。

当院は病院の新築移転で多額の経費がかかり経営の効率化が急務になっていますが、医療界全体としては人口減少をはじめとする社会情勢の変化と国民皆保険制度の課題の顕在化により、持続可能な医療の提供に赤信号が灯っているようです。解決策の提示は簡単ではありませんが、重要なことは一人一人に医療現場の実情を知っていただき、その上で最善の策を地域で、県で、さらには国で考えるべき時代になっていると感じます。誤解を恐れずに簡単に言えば、医療費は誰が払うのかという問題です。

病院は二十四時間三六五日の稼働を求めら

れています。当院のような自治体立急性期病院では社会的な要求も高くなりますので、休日・夜間も職員が病院内で勤務しております。特に救急外来は予測できない来院患者数に対し、はるかに多くの職員が待機しています。一方、通常営業時間内と時間外の医療費に大きな差はありません。休日や夜間の勤務者には労働基準法に従い平日昼間よりも多く給与を支給しなければなりませんし、代替休日を取ってもらうことが法律で決められています。そのために休日・夜間の医療提供は赤字なのですが、この差額は誰にも支払ってもらえませんので、当院の場合であれば最終的に霧島市が補填することになります。つまり、税金です。

また、当院のような急性期病院（DPC病院・入院医療費が定額）は極端に言えば消耗品（薬剤や機器）を使っても使わなくても同じ値段という制度です。入院患者さんについては、検査はしない方が、薬は使わない方

が収益が上がる仕組みです。自治体病院である当院に入院された患者さんから、検査をしてもえなかったとか薬を使ってもえなかったというクレームはありません。輸入品がほとんどの薬剤や機器の値段は円安の影響をうけますが、ガソリンのように為替レートで値段が変わることはありません。現在の制度では患者さんを受け入れると赤字で医療を提供することを余儀なくされている場合が多々あります。この費用は誰が負担することになるのでしょうか。当院では霧島市の税金になります。国で見れば赤字国債を通して孫子の代への付け回しのような気がします。

自治体病院の健全な医療の提供体制は、上記の「誰かが支払うべき差額」を国や自治体が税金から賄うことで成り立っているのが現実です。税金がどのように使われているのかわかりにくいという声もよく聞きますが、自治体病院で働いていると病院は税金が投入されている場所だというのがよく理解できます。最近の国会のテーマであった高額療養費制度を含む日本の保険診療制度は、諸外国から見たら信じられないくらい「社会主義的制

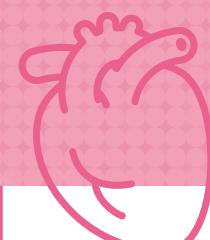
度」だといわれてきました。種々の課題を抱えながらも、その制度で世界一の長寿社会ができたと言っても過言ではありません。これらの実態を相互に理解し、市民の共有財産である霧島医療センターを発展させることが重要だと思っています。

当院も含めて身近な医療の実態を住民の皆さんにも正確に知っていただき、行政と医療提供者と医療受益者（患者さん）とがこれからの当院の方向性を相談すべき時代になっていると思います。日本は人口減少時代になっており、当地区でも二〇四〇年以降は急速に減少することが予測されています。それまでには霧島医療センターの戦略的ダウンサイジングが必要になります。病院のどの機能を残すか、どの診療科を残すのか、病床数はいくつに減らすか、などの難問に向かうべき時期がきます。病院のあるべき姿を多方面から検討できる時期が来ることを期待しております。それまでは、現在与えられた機能をすべて発揮できるように全力を尽くすことは言うまでもありません。

霧島医療センター 外来フロアマップ



病院長 河野 嘉文



心臓血管外科のご紹介

心臓血管外科 医師 荒田 憲一

はじめまして。霧島医療センター心臓血管外科の荒田憲一と申します。昨年十月一日付で霧島医療センターに心臓血管外科が開設されました。私自身はここ霧島市出身で、医師になり既に三十年以上となりました。鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、鹿児島医療センター、県立宮崎病院、旭川医科大学病院などで心臓血管外科医として従事して参りました。これまで培った技術や知識を、生まれ故郷である始良・霧島地区の患者さんのために役立てることができれば、医者冥利に尽きると感じています。以前から心臓血管外科疾患に対応できる施設が、この始良・霧島地区には無かった事が鹿児島県の心臓血管外科診療の上でも大きな問題点でもありましたので、少しでもその解消に繋がるように精進したいと思っています。これまで鹿児島大学心臓血管外科より応援をいただき、毎週金曜日に外来を実施しておりました。現在、常勤が私一人で、力不足は否めない状況です。で、大学からの外来診療は代わらず継続して頂き、大学との連携をとりながら診療を充実させていく所存です。当院での対応可能な疾患としては、下肢静脈瘤、動脈閉塞性疾患、大動脈瘤、血管外傷、シャント関連等々で、これらの疾患に関しては入院、手術、術後フォローまで当院で可能になりました。心臓疾患



(狭心症、心筋梗塞、弁膜症等)に関しましては、循環器科とも協力しながら、手術が必要な患者さんは大学へ紹介するかたちで対応しています。小生が一人常勤であること、麻酔科常勤も一人であることから、急患対応に関しましては、十分じゃない時もあるかと思いますが、できるだけ対応したいと思っています。地域医療機関の先生方には、該当疾患の患者さんやちよつとはつきりしないけどどうなんだろうという様なご相談を含め、遠慮無くご紹介頂けると助かります。地域医療機関の先生方、そして何よりもこの始良・霧島地区の患者さん達が霧島医療センターに心臓血管外科があつてよかったねえ。と感じて頂けるように鋭意努力して参りたいと思います。以後お見知りおきの程、何卒、よろしくお願い致します。

歯科口腔外科のご紹介

歯科口腔外科 医師 今村 晴幸

この度、二〇二五年二月一日、当院の新病院開院に伴い、歯科口腔外科を開設する運びとなり、常勤歯科医師一名、常勤歯科衛生士二名体制で、診療に臨む事になりました。

歯科口腔外科は、口腔領域のがん、良性腫瘍、口唇口蓋裂等の先天異常、炎症、口内炎等の口腔粘膜疾患、顎関節症や顎関節脱臼等の顎関節疾患、顎顔面外傷、口腔顎顔面痛の診断ならびに治療と、一般開業医で対応困難な難拔牙や埋伏智歯(親知らず)抜歯や歯根端切除、嚢胞摘出といった小手術や有病者の抜歯を中心とした歯科治療を専門的に行う診療科で、虫歯治療や歯周病治療、義歯作製や被せものの治療を行う一般歯科とは、診療内容が異なります。

近年、高齢化社会に伴い、がんや脳血管疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、骨粗鬆症や転倒による骨折患者が増加し、当院での全身麻酔下の手術、抗がん剤治療、放射線治療、緩和治療も増加しております。その際、術後肺炎や人工呼吸器関連肺炎、誤嚥性肺炎や術後感染、術後合併症の発症防止のためにも口腔内保清、口腔内感染源除去や、口内炎、口腔カンジダ症等の口腔粘膜疾患の口腔内管理(口腔ケア)がますます、大事になってきています。これらを総称して周術期口腔機能管理といいます。

また、抗がん剤、抗血栓薬、骨粗鬆症治療薬、糖尿病薬、骨吸収抑制薬、ステロイド薬を使用中の有病者に対する口腔小手術を行う際に、出血傾向や易感染性、顎骨壊死発症等のリスク管理も必要となります。このように当科では、有病者歯科治療、周術期口腔機能管理を通した医科歯科連携の強化も行っております。車いすからの移乗の必要がなく診療可能な最新の診療用チェア導入で、有病者、高齢者に優しい診療体制を取っています。

なお、全身麻酔や入院加療が必要な方に対しては、鹿児島大学病院口腔外科(奥井達雄教授主宰)と連携を取りながら加療を行っていく予定にしております。

これまで、抜歯や口腔外科専門医の診察のために鹿児島市や近隣の病院を受診いただいたいた霧島市ならびに始良地区の住民の方も、当院で口腔外科指導医・専門医の診療が可能ですので、通院時間を気にせず身近な歯科口腔外科専門医療機関として、受診をいただければ幸いです。

なお、当科初診の際は、かかりつけ歯科医からのご紹介により、予約センターを通して受診いただければと思います。

県央の始良、霧島地区で、口腔外科に特化した唯一の公的病院歯科として、地域医療に貢献していきたいと思っております。



外来診療日

【今村 晴幸 医師】
毎週月曜～金曜日
(初診受付は11:00まで)

【奥井 達雄 教授】
第1または第2火曜日午後
院内病棟口腔ケア回診後、外来診察



外来予約センターのご案内

2025年2月より、効率的な医療の提供および患者様の待ち時間短縮のため、外来予約センターを開設いたしました。当院の初診・再診につきましては、**すべて完全予約制**となりますので、受診の際はご予約をお願いします(急患を除く)。

〈外来予約センター〉

初診紹介予約、再診予約、予約変更、健康診断、二次検診。



【予約に関するお問い合わせ】平日/9:00～17:00

TEL 0995-55-0107

医療機関専用 FAX 0995-55-0162

※紹介内容確認のため、予約日時のお返事に2日ほどかかる場合がございます。

〈地域の医療関係者様へ〉

現在、地域の医療機関から受診予約、検査予約をオンラインで出来る「STELLAR NETシステム」を導入しております。



【STELLAR NETシステムを導入している診療科】

耳鼻咽喉科・頭頸部外科、泌尿器科、血液内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器内科、総合内科(初診・消化器内科)、整形外科、脳神経内科。

／ 新病院開院後のお知らせ ／

検査のココが変わります！

導入装置 GE 社製「Omni Legend」



PET-CT 検査とは、

PET（陽電子断層撮影）装置と CT（コンピュータ断層撮影）装置を組み合わせた医療画像診断装置です。PET は体内の代謝活動を評価し、CT は体内の解剖学的構造を詳細に映し出します。

当院に導入される PET-CT 装置は PET の放射線検出器に半導体を使用した最新型の装置で、従来装置と比較して高解像度かつ短時間での撮影が可能です。

PET 検査はあまり聞きなれない検査だと思います。実際、全国的にも PET 装置の設置台数は少なく PET

検査を受けられる施設は鹿児島県内でも数施設しかありません。

また県内では鹿児島市以外の市町村での PET 装置導入は当院が初となります。

2023 年にはアルツハイマー型認知症の治療薬「レカネマブ」が保険承認され、レカネマブの使用条件に PET 検査での診断が必要とされます。

PET 検査は今後の医学進歩に伴い様々な場面での活躍に期待できる検査となるでしょう。

／ 2025年4月より開始しました！ ／

医療費後払いサービス



院内に設置しております端末より後払いの登録をしていただくと、診察終了後、会計終了を待たずにお帰りいただけます。

院内にパンフレットを設置しております。是非ご利用ください。



*専用アプリ「スマバアプリ」をお持ちのスマートフォンにダウンロードしてください。

*クレジットカードの登録が必要になります。

受付開始時間のご案内

(令和7年5月7日より)

8:15 受付開始

再来受付機
採血室

ご理解ご協力のほど
よろしくお願い申し上げます。

8:30 受付開始

外来
放射線室
生理機能検査室
内視鏡室



〒899-5112 鹿児島県霧島市隼人町松永3320番地

霧島医療センター

TEL 0995-42-1171 (代表) FAX 0995-42-2158

受付時間 8:30～11:00

診療時間 8:30～17:30

休診日 土・日・祝・年末年始

↓ 職員募集中 ↓

Instagram



@KIRISHIMA_MEDICAL_CENTER

看護部Instagram



@KIRISHIMAMC_JOBOFFER

ホームページ

